土砂崩れ、消えた橋、流木…

知事、避難の住民を激励

上矢作町 空からルポ

豪雨の深いつめ跡に衝撃

縦五百㍍にわたって崩れ落ちた山肌、まるごと流されて消えた橋、谷あいの町にうずたかく積み上がったおびただしい数の流木――。十四日、梶原拓知事らを乗せ、県内で最も被害を受けた上矢作町へ視察に飛んだ県の防災ヘリに、県内報道機関の代表取材として同乗、上空から災害のつめ跡を眺めた。（岐阜支社報道部・垣見洋樹）

午前九時十分、長良川河畔を飛び立ったヘリは約二十分後に現地上空へ。達原（たっぱら）地区に達すると、巨大な土砂崩れの跡が見えてきた。縦二百㍍以上の土砂崩れが三カ所。うち一カ所は五百㍍にもおよび、自然災害の猛威を見せつけている。地区住民の唯一の通り道、国道418号は、三十カ所以上の土砂崩れで寸断されたままだ。

アマゴの養殖場を見回りに出かけて流され、死亡した同町四一、無職荻山実さん(六七)方上空へ。付近の橋には、川の水に漬かった跡が今も残る。梶原知事は「いざというときは出歩いちゃいけない。命あっての物種なんだから」と戒めるようにこう言った。

続いて町の中心の本郷地区へ。至るところに、上流からの流木が積み上がる。自衛隊や建設業者が忙しく道路の復旧や流木の除去に取り組んでいる。しかし、すべてを取り除くには、途方もない時間と労力がかかりそうだ。川沿いの田畑は、作物ごと流されてしまっている。

下地区では、二日前まで陥没して通行止めになっていた久呂瀬橋が早くも片側通行できるまで復旧した。しかし、木が積み上がった橋、流木がせき止めた水の重みでけたが流された橋もあり、流木による被害は甚大だ。

約三十分の視察を終え、ヘリは上矢作中学校グラウンドに降り立った。梶原知事は、上矢作町の伊藤勇町長から、道路が寸断され、水、電気などライフラインも断絶した達原地区の被害状況について説明を受け、同地区住民が避難生活を送っている福祉施設へ慰問に訪れた。

知事は「大変だと思いますががんばって下さい。県としても努力します」と声をかけた。住民からは「植林されたのが杉やヒノキばかりなので地盤が弱く、木が流された。被害が拡大しないような施策を講じて下さい」などの要望が相次いでいた。

大規模な土砂崩れによって寸断された国道418号（写真中央付近）＝上矢作町達原で

伊藤町長から被災状況などの説明を聞く梶原知事＝上矢作町中央公民館で

「恵南豪雨災害」と命名

県は十四日、台風14号と秋雨前線によって十一日から十二日まで県内に降り続いた大雨による災害を「恵南豪雨災害」と命名した。

美濃地方一帯で広く被害が出たが、上矢作町を中心に恵那郡南部の被害が特に深刻だったため「恵南」という言葉を付けた。

平成12年9月15日（金）中日新聞 岐阜版

矢作川

源流で山河崩壊か

下流の豊田圏も空前の洪水に

12日正午頃の矢作ダム。まだ洪水ゲートから濁流を吐き続けていた

矢作ダム上流約500km²の広大な山間地に、9月11日未明から合計400ミリを超す集中豪雨が降り、翌12日午前7時頃から約2時間半、矢作川本流は記録的洪水に襲われた。源流域で山河大崩壊が起きたようだ。濁流の茶色が濃かった。伊勢湾台風時を超える大出水だった＝4面に豊田市内の被害状況＝。

河口から80km（豊田都心から40km）上流にある矢作ダムは、午前7時前後の数時間、洪水ゲート7門のすべてを開け、毎秒2000トン前後の洪水を吐き続けた。ピークの午前7時20分頃、放流量は2400トン台に達した。昨年6月30日の大洪水のピーク放流は毎秒972トンだった。

上の写真の矢作ダムは正午頃撮影した。すでにピーク放流は終わり、上段ゲート4門は閉じていた。下段の3門だけが濁流を吐いていた。

矢作ダムのピーク放流時の午前7時頃、同ダムから約10km下流にある東加茂郡旭町の小渡幼稚園舎が、あっという間にあとかたなく流失した。ほぼ同時刻、それより下流の小原村簗原付近や豊田市富田町・西広瀬町の右岸県道（豊田明智線）に、洪水が乗り上げ大量の土砂を路上に残した。一時不通になった。対岸の左岸県道（島崎豊田線）は寸断された。両県道を結ぶ矢作川・富国橋が流失した。

広瀬ヤナ（豊田市）と川口ヤナ（藤岡町）は、河川内のヤナ本体はもちろんのこと、陸上の客席、調理室、事務室等の全施設が壊滅的被害を受けた。今期再開の見通しはたたない。最上流の小渡ヤナ（旭町）の陸上施設は無傷で残った。

河口から45km地点の越戸ダムは、午前9時頃、毎秒2568トン（ピーク）を放流した。昨年6月30日のピーク放流は1619トンだった。

越戸ダム直下流の左岸・豊田市扶桑町では、古鼡水辺公園が完全水没した。洪水が堤防を越流し、集落へ流れ込んだ。右岸の豊田市越戸町でも一部越流したが、住民が出動し土嚢を積んだ。豊田都心部では堤防から上が洗えそうな水位だった（12日夜、新見）

平成12年9月15日（金）矢作新報

被害状況報告市町村別一覧

区分	項目	細目	単位	愛知県 岡崎市	愛知県 碧南市	愛知県 安城市	愛知県 西尾市	愛知県 豊田市	愛知県 藤岡町	愛知県 小原村	愛知県 足助町	愛知県 旭町	岐阜県 上矢作町	岐阜県 明智町	岐阜県 串原村	長野県 根羽村	長野県 平谷村
人的被害	死者		人					1					1				
	行方不明者		人														
	負傷者	重傷	人													1	
		軽傷	人														
住家被害	全壊・流出		棟														
			世帯										11				
			人														
	半壊		棟					5			1						
			世帯					5			1		12				
			人					18			6						
	一部損壊		棟	1							6	2					
			世帯	1							6	2	2		1		
			人	3							23	7					
	床上浸水		棟	387	11	42		192		1	13	11				5	46
			世帯	390	11	34		216		1	13	11	13				
			人	1162	32	99		690		1	61	35					
	床下浸水		棟	1121	174	159	31	369	1	6	25	21				57	41
			世帯	1128	174	97	33	371	1	6	25	21	49	1	2		
			人	3729	517	287	90	1420	3	27	98	57					
非住家	公共建物		棟					3			1	10					
その他	河川	破堤	箇所														
		越水	箇所			3		51									
		その他(法面崩壊等)	箇所	8				40	25	5	170	82					
避難の勧告、指示等の状況			地区					5	2	4		9	887世帯		301世帯		262世帯
			人					24000	290	223		1090	2943		1047		674
出典				愛知県災害対策本部									岐阜県消防防災課			長野県消防防災課	
調査時点				H12.10.10 9時現在									H12.09.27 10時現在			H12.09.25 17時現在	

矢作ダム管理所 2000